

- (誤) ▶ **方法** 糖水（ブドウ糖）を経口で摂取する糖負荷試験を行い，耐糖能を検査する．
- ・ 50 gGCT (50 g Glucose Challenge Test)：空腹時に関係なく検査可能．50 g の糖水を摂取し，1 時間後に採血で血糖値を測定する
 - ・ 75 gOGTT (75 g Oral Glucose Tolerance Test)：空腹時に行う検査．空腹時に 75 g の糖水を摂取し，摂取前，1 時間後，2 時間後の合計 3 回の採血で血糖を測定．
- ▶ **時期** 図 1-1-37 を参照のこと．
- ① 妊娠初期の血糖検査が陽性だった場合：75 gOGTT を行う．
 - ② 妊娠初期の血糖検査が陰性だった場合：妊娠中期（妊娠 24 ～ 28 週）に 50 gGCT を行う．この検査で陽性だった場合（1 時間値 ≥ 140 mg/dL）は，さらに 75 gOGTT を行う¹⁵⁾．
- ▶ **結果のアセスメント** スクリーニング検査で陽性の場合，75 gOGTT を行って，GDM あるいは DM を診断する．

表 1-1-11 は耐糖能異常に関連した合併症である．このような周産期合併症が予測され

- (正) ● **Biophysical Profile Score (BPS)**
- ▶ **目的** 胎児の well-being を診断するために行う．
- ▶ **方法** 表 1-1-13 の 5 項目について検査し，5 項目の合計点で評価する．
- ▶ **時期** 妊娠 25 週から実施可能とされている．
- ▶ **結果のアセスメント** 5 項目で評価することにより，1 項目による評価よりも胎児の状態を正確にとらえることができる．BPS に基づく管理方針を表 1-1-14 に示す．
- **ヒト胎盤性ラクトーゲン (hPL)**
- ▶ **目的** 胎盤由来の hPL を測定し，胎盤の発育増大の評価を行う．
- ▶ **方法** 採血
- ▶ **時期** 妊娠後期で胎児発育不全 (FGR) や胎盤の機能不全を疑うとき
- ▶ **結果のアセスメント** hPL の減少があれば，FGR や子宮内胎児死亡 (IUFD) のリスクが高くなる¹⁶⁾．